

重要書類

2026年3月31日までなくさずに保管してください

アーティストが学校へ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

学校プログラムのすすめかた
学校報告書様式

実施校の先生のために | 令和7年度版

<https://y-platform.org>

【もくじ】

- p.1.... 横浜市芸術文化教育プラットフォーム概要
- p.2.... プラットフォームの「学校プログラム」とは？
- p.3.... 年間の実施の流れ
- p.4.... 実施終了後に、学校が行うこと
- p.5.... 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先
- 様式.... 子どもたちへのアンケート（全1枚）
- 様式.... 学校向け実施報告書（全2枚）
- 様式.... 横浜市庁内メール便の宛名

企画・制作 / 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

（STスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会事務局、横浜市にぎわいスポーツ文化局）

横浜市芸術文化教育プラットフォーム 概要

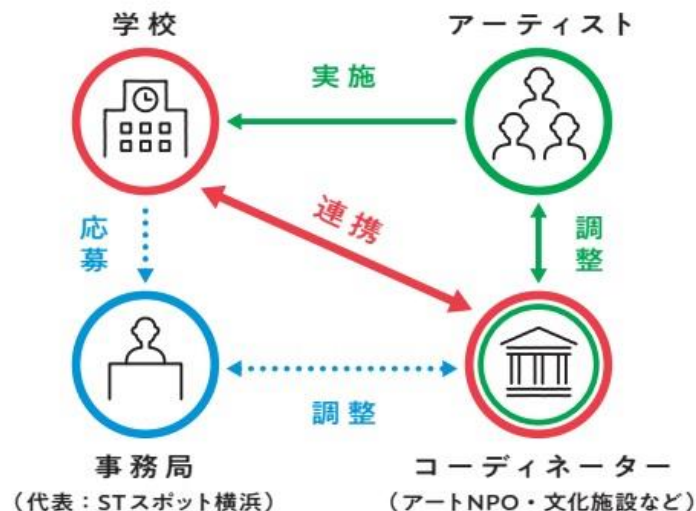
横浜市芸術文化教育プラットフォームは、芸術文化の学校向けプログラムを中心とした「連携のしくみ」です。さまざまな立場の方が集まって、つくられています。ねらいは、次の三点です。

- (1) 学校現場の実状に応じ、カリキュラム上での芸術文化活動の位置付けを行うための体制づくり
- (2) さまざまな実施主体、関係団体を結ぶネットワーク
- (3) 子どもたちにとって効果的なプログラムの提供及びプログラム実施に関する調査研究や人材育成

各学校は、カリキュラムに位置付けるなど学校現場の実状に応じた効果的なプログラムを考えます。

アートNPOや文化施設などは、コーディネーターとして学校の先生とアーティストをつなぎ、取組が円滑に進むよう調整し、子どもたちに向けたプログラムを実施します。

また事務局（STスポット横浜内に設置）は、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会事務局、横浜市にぎわいスポーツ文化局と連携し、年間を通して学校からの相談対応や、学校プログラムの募集業務等の調整を行います。



令和7年度のコーディネーター ※順不同。

【アートNPO、民間芸術文化団体】Media Global、特定非営利活動法人 子どもに音楽を、特定非営利活動法人 横浜こどものひろば、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、Art Lab Ova、民族歌舞団 荒馬座、アートの時間、特定非営利活動法人 Offsite Dance Project、認定特定非営利活動法人 あっちこっち、特定非営利活動法人 横浜シテオペラ

【地域の文化施設】青葉区民文化センター フィリアホール、泉区民文化センター テアトルフォンテ、栄区民文化センター リリス、神奈川区民文化センター かなつくホール、港南区民文化センター ひまわりの郷、鶴見区民文化センター サルビアホール、戸塚区民文化センター さくらプラザ、緑区民文化センター みどりアートパーク、旭区民文化センター サンハート、磯子区民文化センター 杉田劇場、瀬谷区民文化センター あじさいプラザ、港北区民文化センター ミズキーホール、都筑区民文化センター ボッシュホール、大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、長浜ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ、横浜市民文化会館 関内ホール、大佛次郎記念館、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫 1号館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂

【事務局構成団体】公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ、認定特定非営利活動法人 STスポット横浜

プラットフォームの「学校プログラム」とは？

(1)学校プログラムとは？

アーティストが、直接学校へ出かけます

平成 16 年度にスタートした子どものための芸術文化・教育事業です。音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能など、幅広い分野で活躍しているアーティスト（芸術家）が、直接学校へ出かけます。「体験型プログラム」と「鑑賞型プログラム」の2種類があります。

コーディネーターと先生が、実施内容を調整します

ふだん文化施設や芸術団体で活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科等のねらいや、ふだんの学校の様子といった先生がもっている情報と、コーディネーターがもつ芸術文化分野に関する専門知識を掛け合わせることで、効果的なプログラムが実施できます。

アートの力を、学びの基礎づくりに生かします。

私たちは、芸術文化のもつ創造性を通して、子どもたちが互いの力を認め合い伸ばしていく過程を大切に考えています。教科等との連動以外に、コミュニケーション能力の育成など、学びの基礎づくりの中で、力を発揮するのがアートです。自由な発想を導き、豊かな感性を育てることで、子どもたちの学習活動がより豊かなものになることを期待します。

(2)学校プログラムには、2つの種類があります。

体験型プログラム

3日程度のプログラムです。具体的な体験を通して、アーティストとともにさまざまなジャンルの創造活動に取り組みます。ワークショップ形式で子どもの潜在的な創造性を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施します。対象は一つの学年、取組は1～2クラス単位で行います。

鑑賞型プログラム

基本的に1日で終了するプログラムです。アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞することが基本です。その後アーティストのお話を聴くことで芸術文化を身近に感じることができます。音楽や伝統芸能などの鑑賞を通して、芸術に触れる機会を提供します。対象は一つの学年です。

実施にあたっては、事務局が選定したコーディネーターが、学校からの要望（実施日程、実施内容など）を聞き取り、最適な実施内容となるよう、先生やアーティストと調整を行います。

なお、コーディネーターは予算の範囲内でプログラムを実施するため、アーティストの選定やプログラムの組立について、学校のすべてのご希望に添えない場合もあります。予めご理解ください。

年間の実施の流れ

(1)事務局→実施校へ決定の通知(5月末まで)

事務局から学校に、実施の決定通知を出します。その際、コーディネーターをお知らせします。

(2)実施に向けて、学校とコーディネーター間での調整(6月より順次)

担当コーディネーターと打合せをします。ねらい、ジャンル、回数、アーティストなどを調整します。コーディネーターに学校の詳細な希望とクラス・学年の状況をお伝えください。

＜コーディネーターとの確認ポイント＞

- ☐ 目標の設定と具体的な授業イメージの共有
- ☐ 授業を実施する学年、内容、時期などの再確認
- ☐ 複数日にわたる場合は、実施するコマの確認（3・4時間目に2組、5・6時間目に1組、など）

メモ 事前に年間行事予定表などを用意しておく、やりとりがスムーズです。毎年、1～2月の実施では、インフルエンザの流行や大雪の影響による日程変更が相次いでいます。予備日を設定するなどしておく、安心です。

(3)アーティストの決定、実施内容の調整(随時)

学校と調整のうえ、コーディネーターがアーティストを決定します。その後、適宜打合せを行い、プログラムを組み立てます。日程などもこの段階で決定します。その後も、必要に応じて打合せを行うことがあります。原則、学校の費用負担はありませんが、画用紙などの消耗品、音響機器などの備品でご協力いただける場合は、お願いします。

＜コーディネーターとの確認ポイント＞

- ☐ 学校で用意するもの、コーディネーターが用意するものの確認
- ☐ 実施場所や控室などの確認
- ☐ 昼食は、どこでどのようにとるかの確認
- ☐ 子どもたちに対して、事前に取り組むについてどう説明するか
- ☐ 活動記録写真の撮影方法、許諾の取り方などについての確認

(4)プログラム実施

打合せ内容に沿って、プログラムを実施します。時期は、令和7年度（おおむね 2025 年6月から 2026 年3月まで）の実施となります。

(5)アンケートの実施と集計、学校向け実施報告書提出など(実施後2週間程度までに)

次回以降によりよいプログラムをお届けできるよう、コーディネーターとの振り返り、各資料の提出にご協力ください。プログラムの改善点やアドバイスなどをお知らせいただけると幸いです。

- ☐ 「子どもたちへのアンケート」の実施と集計 → 提出
- ☐ 「学校向け実施報告書」への記入 → 提出
- ☐ 活動記録写真の確認

※いずれも詳細は、次頁を参照してください。

実施終了後に、学校が行うこと

(1)「子どもたちへのアンケート」の実施と集計 → 提出

今回の授業に参加した子どもたちにアンケートを実施してください。

対象：小学3年生以上の参加した全児童・生徒。※小学1・2年生、個別支援学級、特別支援学校の子どもたちへのアンケート」の実施・提出は任意です。英語版、中国語版もありますので、必要な場合は、プラットフォーム事務局までお知らせください。

① 別紙のひながたを、適宜印刷してアンケートを実施してください。

ひながたは、ウェブサイト (<https://y-platform.org>) よりダウンロードできます。

② 「学校向け実施報告書」1-(2)に、アンケートの集計結果をご記入ください。

③ すべてのアンケート用紙の原本を報告書送付先（下記参照）までお送りください。

なお、事務局からは返却しませんので、必要に応じて控えを取り、取組の振り返りに活用してください。点線以下の児童・生徒の氏名など切り取ってからお送りいただいても構いません。

タブレット端末によるアンケート実施でも構いません。その場合、集計結果を「学校向け実施報告書」とともに toiawase@y-platform.org までデータを添付してお送りください。

(2)「学校向け実施報告書」の記入 → 提出

今回の取組にいちばん深くかかわった教員の方、1名をご記入ください。

① 別紙のひながたに、ご記入ください。

ひながたは、ウェブサイト (<https://y-platform.org>) よりダウンロードできます。

② 「子どもたちへのアンケート」の原本と共に、報告書送付先（下記参照）までお送りください。

なお、「学校向け実施報告書」は、メールでの提出も可能です。toiawase@y-platform.org までダウンロードしたファイルに回答をご記入のうえ、添付してお送りください。

(3) 活動記録写真の確認

担当コーディネーターが撮影した活動の様子の写真に対して、使用許諾の確認をお願いします（5枚程度を想定しています）。その際、年度初めに各学校で実施している「個人情報の取扱いに関する同意確認」に基づいて確認してください。事務局への提出は、コーディネーターが行います。

アンケート・記録写真等の使用目的 いずれも、横浜市個人情報の保護に関する条例に従って使用します。

(1) 横浜市芸術文化教育プラットフォームの広報用資料（報告書、ウェブサイト）(2) 横浜市及び当事務局の各種資料 (3) 横浜市及び当事務局主催事業（シンポジウム等）における配布用資料・紹介 (4) 翌年度の募集要項におけるプログラム案内としての例示 (5) 担当コーディネーター・アーティストの資料 (6) その他マスコミ、自治体等からの要請による資料提供

アンケートおよび実施報告書の送付先・問合せ先

<送付先>

庁内メール便の場合：横浜市 にぎわいスポーツ文化局 文化振興課 法月 裕 宛

※最終ページの送付票を利用して、「庁内メール便」でご送付ください

メールの場合：toiawase@y-platform.org

<問合せ先> 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局（認定NPO 法人 ST スポット横浜内）

TEL: 045-325-0410 FAX: 045-325-0414 E-mail: toiawase@y-platform.org

横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先

基本的な調整事項はコーディネーターが行いますが、問題が生じた場合は、プラットフォーム事務局にご相談ください。連絡先は、以下のとおりです。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

認定特定非営利活動法人 S T スポット横浜 地域連携事業部 内

担当者：田中 真実（たなか・まみ）、土橋 絢菜（どばし・あやな）、太田 梨奈（おおた・りな）

所在地：神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15 横浜 S T ビル地下 1 階 〒220-0004

TEL: 045-325-0410 FAX: 045-325-0414

- ・プラットフォーム事務局として <https://y-platform.org> toiawase@y-platform.org
- ・S T スポット横浜として <https://stspot.jp> artedu@stspot.jp

横浜市教育委員会事務局 学校教育部学校経営支援課

担当者：三宅 智恵（みやけ・ちえ）

神奈川県横浜市中区本町 6-50-10 14 階 〒231-0005 TEL: 045-671-3265 FAX: 045-664-5499

横浜市 にぎわいスポーツ文化局 文化振興課

担当者：鍛冶 晶子（かじ・あきこ）、法月 裕（のりづき・ひろし）

神奈川県横浜市中区本町 6-50-10 28 階 〒231-0005 TEL: 045-671-3714 FAX: 045-663-5606

公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

担当者：千装 功（ちぎら・いさお）、西垣 龍一（にしがき・りゅういち）

神奈川県横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 1 階 〒231-0023

TEL: 045-221-0212 FAX: 045-221-0216

子どもたちへのアンケート——アーティストの授業について教えてください

1. 今回の授業を前から楽しみにしていましたか。

☐ 楽しみにしていた

☐ 楽しみではなかった

☐ 特に気にしていなかった

2. 授業は楽しかったですか。その理由も教えてください。

☐ 楽しかった

☐ 楽しくなかった

☐ どちらでもなかった

理由

()

3. 自分から楽しんだり、発見したりしたことはありましたか。

☐ あった

☐ なかった

理由

()

4. 今回のような授業をまた受けたいですか。

☐ 受けたい

☐ 受けたくない

5. 今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、自由に書いてください。

がっこう
学校

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

学校向け実施報告書（全2枚）

1. 今年度の事業報告として、一部を公開します。どうぞご協力ください。

（1）本紙をご記入いただく先生についてお知らせください。

学校名： _____ 学校

お名前： _____ ふりがな： _____

今回の取組の科目・教科名： _____

（2）子どもたちのアンケートの集計結果をお知らせください。

1. 今回の授業を前から楽しみにしていましたか。

・楽しみにしていた……………	人
・楽しみではなかった……………	人
・特に気にしていなかった……………	人

2. 授業は楽しかったですか。その理由も教えてください。

・楽しかった……………	人
・楽しくなかった……………	人
・どちらでもなかった……………	人

◆主な理由など

3. 自分から楽しんだり、発見したりしたことはありましたか。

・あった……………	人
・なかった……………	人

◆主な理由など

4. 今回のような授業をまた受けたいですか。

・受けたい……………	人
・受けたくない……………	人

5. 今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、自由に書いてください。

◆主な記述など

（次のページに続きます）

(3) 次に、担当の先生に子どもたちの様子についてお伺いします。今回の取組により、子どもたちにとって最も力がついたと思われる項目ひとつに◎印、そのほか力がついた項目に○印をご記入ください。

表現力	コミュニケーション力	創造力	想像力	感受性	集中力	協調性	共感力	言語能力

(子どもたちのどんな様子・行動を見てその力がついたと思いましたか。具体的にご記入ください。)

(4) 今回のアーティストによる授業を通して、先生ご自身が感じたことをご記入ください。200字程度をお願いします。

(子どもたち（またはクラス）に変化があったこと／ご自身に影響があったこと／教科・領域との関連／コーディネーターやアーティストとの連携／具体的な取組内容／今後の期待や希望 などについて、自由にご記入ください。)

(校長先生・副校長先生のご意見ご感想がありましたら、あわせてご記入ください。)

2. 引き続き、担当の先生にお伺いします。以下の項目は、学校名、個人名が特定されない形で集計します。

(ここで回答いただいた内容は、来年度の選考とは関係ありません。率直なご意見をください)

(1) 実施にあたって、コーディネーターと適切なコミュニケーションをとることはできましたか。

とれた | どちらかといえば、とれた | どちらかといえば、とれなかった | とれなかった

(2) 子どもたちはプログラムに満足していたようでしたか。

満足 | どちらかといえば、満足 | どちらかといえば、不満足 | 不満足

(3) 先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものでしたか。

満足 | どちらかといえば、満足 | どちらかといえば、不満足 | 不満足

(4) 運営面で問題点や改善すべき点がありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

報告書などを横浜市庁内メール便で送付する際に、封筒に貼ってご利用いただけます。

-----（キリトリ）-----

横浜市庁内メール便（市メール）

送付先

横浜市 にぎわいスポーツ文化局 文化振興課
横浜市芸術文化教育プラットフォーム担当 法月 裕 宛

発送者

学校名：横浜市立

担当者：

発送日：

内容物

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム 学校報告書